



さんないまるやま つうしん

第 2 号

平成 8 年 8 月 15 日

青森県教育庁文化課

三内丸山遺跡対策室

〒030 青森市新町 2 丁目 3-1

TEL (0177) 22-1111 (内5251・2)

FAX (0177) 77-5077

三内丸山遺跡対策室 松原分室

〒030 青森市松原 1 丁目 14-11

TEL (0177) 74-0455

FAX (0177) 74-0456

三内丸山通信

「縄文まほろば博」へ行こう!!

今年の夏、「縄文まほろば博」三内丸山遺跡とその世界」が全国各地で巡回展示されています。縄文時代のイメージを大きく変えた三内丸山遺跡を中心に、最新の研究成果を映像やイラストでわかりやすくコーナーごとに再現します。

巨大遺跡出現

巨大遺跡三内丸山の数多くの謎を、遺跡の調査結果を見ながら検証し、当時の集落の様子や人々の生活を考えます。

縄文の谷

実際に遺跡の北の谷や盛り土を再現し、遺跡にいるような体験ができます。

巨大遺跡ワールド

これまでの三内丸山遺跡の調査の歴史や現在の遺跡

の姿を映像で紹介します。

縄文の声

全国の縄文遺跡から出土した土偶や仮面が展示され、縄文人のメッセージを受け取ってください。

縄文の美

全国から集めた素晴らしい縄文時代の遺物を展示し、縄文人の優れた技術や文化を紹介します。

縄文の世界

縄文人の生活を、食・道具・おしゃれ・まつりのテーマで再現します。

縄文人の一生

誕生から死までを墓や副葬品などで紹介します。

縄文人大解剖

科学的な分析から、わた

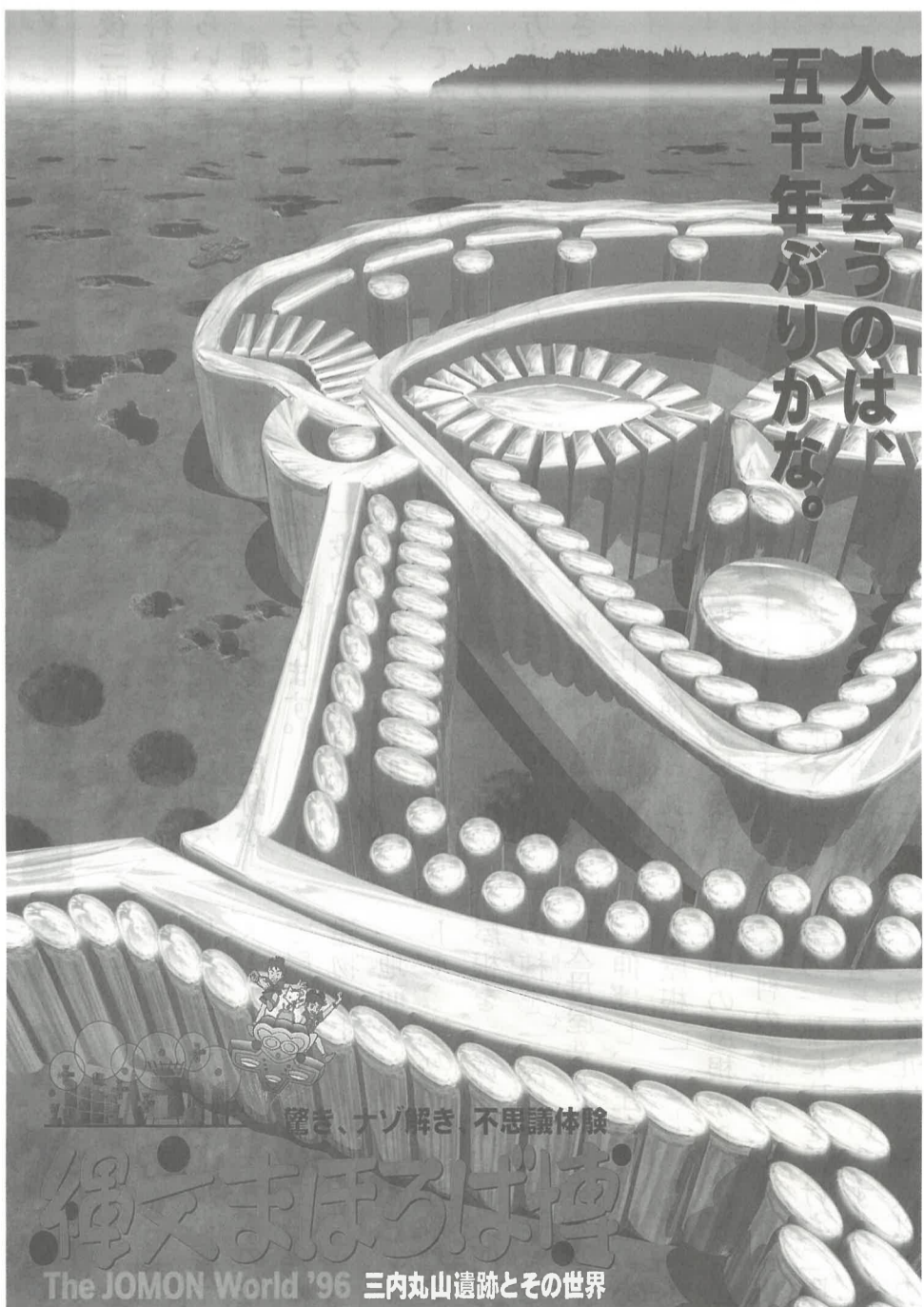


縄文ポシエット

私たちの祖先である縄文人の顔や言葉についてコンピュータで遊びながら理解し、身近に感じることができ

縄文体験

粘土に縄目の模様をつけたり、黒曜石のナイフを使ってみます。また実際に土器に触れたり、顕微鏡をのぞいて出土した小さな花粉を見ることが出来ます。



人に会うのは、五千年ぶりかな。

日程・会場などは次のとおりです。

- 東京 三越美術館・新宿**
新宿区新宿3-33-1
7月25日(木)から8月25日(日)
入場料(前売り) 大人1,600円(1,400円)
中高生1,000円(800円) 小学生600円(500円)
- 大阪 ATC (アジア太平洋トレードセンター)**
大阪市住之江区南港北2-1-10
9月14日(土)から10月6日(日)
入場料(前売り) 大人1,600円(1,400円)
中高生1,000円(800円) 小学生600円(500円)
- 仙台 斎藤報恩会自然史博物館**
仙台市青葉区本町2-20-2
10月13日(日)から11月4日(月)
入場料(前売り) 大人1,200円(1,000円)
中高生800円(650円) 小学生500円(400円)
- 青森 青森産業会館**
青森市大字ハッ役字芦谷208-23
11月10日(日)から11月24日(日)
入場料(前売り) 大人1,200円(1,000円)
小・中・高校生 無料

問い合わせ先
 「縄文まほろば博」実行委員会事務局
 〒150 渋谷区神山町5-5 NRビルB1
 (株)国際メディアコーポレーション(MICO)内
 TEL: 03-5453-5177
 FAX: 03-5453-5301

歴史、ナゾ解き 不思議体験

縄文まほろば博
The JOMON World '96 三内丸山遺跡とその世界

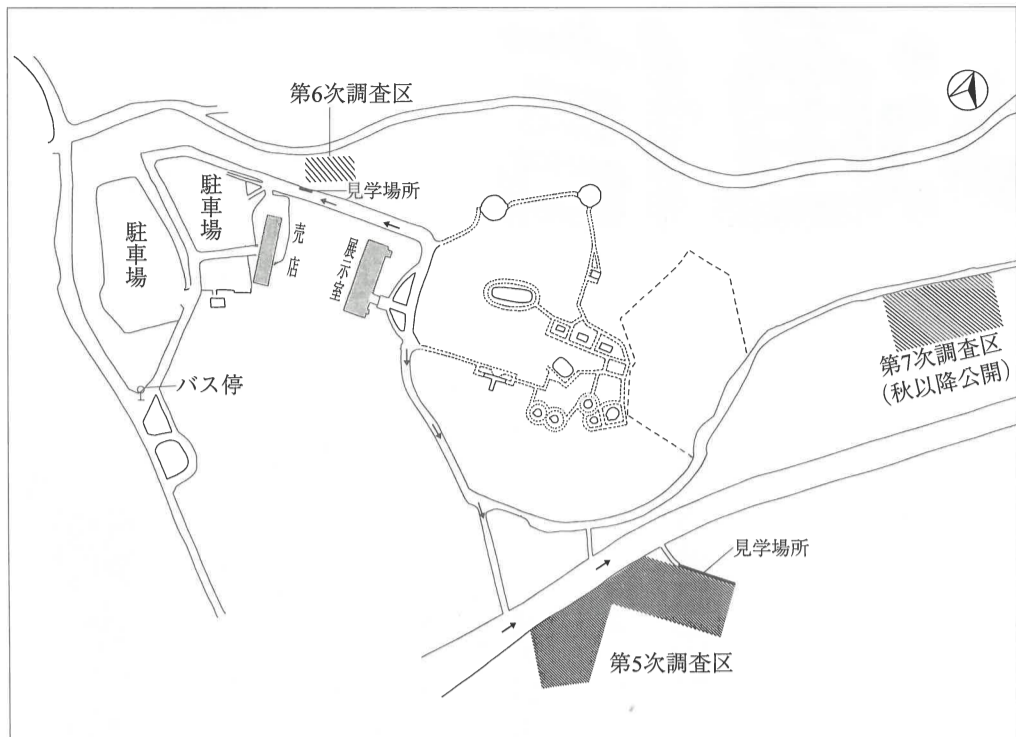


発掘調査がはじまりました

遺跡のすがたをより明らかにするために、五月十五日から発掘調査をはじめました。今年には三ヶ所（第五次・第六次・第七次調査区）で十一月一日まで調査を行う予定です。

第五次調査区は遺跡南地区で、縄文時代の集落の広がりや移り変わりを調査します。ここからは、竪穴住居跡が検出されるものと考えられます。第六次調査区は、昨年に引き続き遺跡西側の谷を掘り下げ、縄文

発掘調査場所



体験学習のご案内

七月から、体験学習をはじめました。対象は小学校高学年以上ですが、どなたでも参加できます。遺跡から出土した土偶・アクセサリー・編物などを間近でみて、参考にしながら作ってみます。また縄文時代の火起こしや石斧で木を伐る実験なども行います。

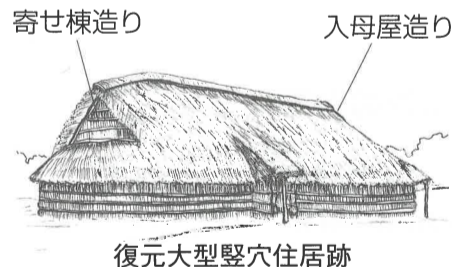
後三時まで。参加料は、材料費として一回五〇〇円ぐらいを予定しています。縄文人が身近な材料を上手に工夫しながら、いろいろなものを生み出している、そんな知恵や技術に触れてみませんか。方法は左の表をごらんください。

平成8年度体験学習の日程

申し込み電話番号0177-22-1111 内線5252

月	日	曜	時間	項目	内容	申し込み
9	28	土	午前10時から午後3時まで	装身具作り	アクセサリーの種類、なわ・ひもの作り方・使い方を紹介し、製作します。	7/29(月)から9/20(金)まで(土・日・祝日を除く)の午前9時から午後5時まで、電話で申し込みを受付します。先着50名で締め切ります。
10	12	土	午前10時から午後3時まで	ポシェット作り	出土した編み物と同じ編み方で、カゴなどを製作します	8/12(木)から10/4(金)まで(土・日・祝日を除く)の午前9時から午後5時まで、電話で申し込みを受付します。先着50名で締め切ります。
12	14	土	午前10時から午後3時まで	編布作り(アンギン)	出土品を参考にし、道具を使って編み方を体験します。	10/14(月)から12/6(金)まで(土・日・祝日を除く)の午前9時から午後5時まで、電話で申し込みを受付します。先着50名で締め切ります。
1	11	土	午前10時から午後3時まで	編布作り(アンギン)	出土品を参考にし、道具を使って編み方を体験します。	11/11(月)から12/20(金)まで(土・日・祝日を除く)の午前9時から午後5時まで、電話で申し込みを受付します。先着50名で締め切ります。

- 場所 三内丸山遺跡内(展示室脇に集合してください。)
- 対象 小学校高学年以上の児童、生徒、一般の皆さんです。
- 材料費 実費として500円程度必要です。(当日、受付で集めます。)
- 持参するもの 昼食、タオル、筆記用具。なお、遺跡内休憩所に食堂があります。
- 服装 作業しやすい服装でおいでください。



三内丸山遺跡

見学時間 9:00~16:30
(入場は16:00まで)

ボランティア・ガイド定時解説
9:00から1時間ごと
(最終は15:30)

交通手段 市営バス
青森駅から免許センター行き
三内丸山遺跡前で下車
所用時間約30分

平成四年から始まった発掘調査で、現在までに約六百棟を超える竪穴住居跡が調査されています。一般的な竪穴住居跡は、直径三から四メートルの円形のもので、地面を掘りこんで床を造り、中には炉があります。さらに大きさが十メートルを超えるものを、大型竪穴住居跡と呼び、遺跡では十数棟検出されています。最大のもは長さ三十二メートルあります。その用途は集会所や共同作業所という説、多雪地域で多く見つかっていることから冬期間の共同住居などと考えられています。今年五月に、復元された竪穴住居跡の中では日本最大のものが完成、公開されています。

この大型竪穴住居跡は今から約四五百年前(縄文時代中期後半)のもので、長さ三十二メートル、幅十メートル、太い十九本の柱で屋根を支えた壁立ち式の建物です。地面からの高さが八メートル、柱の位置から考えて屋根を「寄せ棟造り(四方の棟を一点に寄せる)」と「入母屋造り(棟木を水平に伸ばし、左右に勾配のある屋根)」とし、また「冬期間の屋根からの出入り」「食料の貯蔵」を考え屋根裏の一部に床を設けた二階構造となっています。この復元は三十人以上の大工さんと重機をつかって約百二十日をかけてつくられました。はるか縄文時代にこのような大規模な建物をつくる建築技術と共同作業ができる社会があったことがわかります。

連載

おおがた たてあな じゆうきよ あと 大型竪穴住居跡